

# 令和3年度**財政中期計画**

---

※R3.10月時点の試算

総合政策課 財政係

# 1. 一般会計年度別財政見通し

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
基金現在高計(百万円)	<b>1,137</b>	<b>1,360</b>	<b>1,545</b>	<b>1,370</b>	<b>1,175</b>	<b>785</b>
財政運営基金	<b>706</b>	<b>766</b>	<b>916</b>	<b>771</b>	<b>626</b>	<b>376</b>
減債基金	230	279	279	239	199	109
特定目的基金	201	315	350	360	350	300
経常収支比率	<b>91.6</b>	<b>96.6</b>	<b>97.6</b>	<b>101.3</b>	<b>103.7</b>	<b>105.0</b>
実質公債費比率	9.9	10.3	11.3	11.4	11.5	11.7
将来負担比率	57.5	41.7	58.0	73.0	88.0	98.0
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし

## 2. 大規模事業の考え方

---

投資的事業計画をベースに単独事業費1千万円程度を上乗せ。

中央公民館解体は含んでいない。

R5: **ホットハウス改修 6億2千万円**

R4、5: **金山小プール改修 1億円**

R4 : **町民グラウンドナイター照明改修3,700万円**

R7、8 **大規模ほ場整備 各8千万円**

R7、8 **中学校大規模改修1億4,500万円**

# 3. 年度別財政見通しのポイント

---

① 全体的な見通しは厳しく、さらに工夫と改善が必要です。

- ・ 経常経費の割合が一般財源に対して過剰な状態
- ・ R4以降は基金の取り崩しが必要
- ・ 令和8年度前後に基金が枯渇する可能性がある

→ 早期健全化団体指定も見えている危険な状況  
「令和3年度内に健全化へ軌道修正をする」

# 3. 年度別財政見通しのポイント

---

② 経常収支比率の改善が財政状況を好転させるポイントです。

「全体的な事業費が**歳入規模**に合っていない」

→ **2億円の一般財源の抑制**が必要と試算  
= 8%の改善

= 基金残高の回復、地域経済循環事業

# 3. 年度別財政見通しのポイント

---

③特別会計への繰出金の抑制が必要です。

- ・診療所経営の赤字補填が多額になっている状況。
- ・介護サービスを受けている人が多い状況。  
介護予防事業が介護給付費の抑制につながる。

# 3. 年度別財政見通しのポイント

---

④人口規模に合わせた公共施設数への見直しが必要です。

- 「公共施設等総合管理計画」を見直し中。
- 全体的な施設機能の集約化により維持管理経費の抑制が必要。
- 20年後の人口は約3割減の見込み。交付税が2億5千万円減。

# 3. 年度別財政見通しのポイント

---

⑤起債の償還は令和9, 10年度にピークとなる見込みです。

・R2より、R9年度は償還額が8,000万円の増加

→ 恒常的な財源不足の状態では耐えられない。

「償還財源の確保と事業の実施について  
見直しが必要」



# 4. 財政健全化に向けて

---

令和3年度に重点的に見直し進めている3つの項目

「新陳代謝のR3～令和を生き抜く持続可能なまちづくりを～」

- ・公共施設の機能集約化(利便性の向上と維持費の軽減)
- ・中央公民館の在り方
- ・グリーンバレー神室一体の在り方

「健全化＝経常経費の削減」  
「収入力に合わせた事業展開」